

# 令和4年度 第3回 河北町立小学校のあり方検討委員会

日時 令和5年3月27日（月）  
午後6時～

場所 河北町役場  
3階 301会議室

## 次 第

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 報告・説明
  - (1) 各地区懇談会概要報告
  - (2) 今求められている学力について
  - (3) 文部科学省における「適正規模・適正配置」の考え方について
- 5 協 議
  - (1) 河北町立小学校の適正規模・適正配置について
  - (2) 小学校のあり方や将来の学校像等に対する本町の基本的な方針について
- 6 まとめ
- 7 今後のスケジュール
- 8 その他
- 9 閉 会



河北町立小学校のあり方について

## 第3回検討委員会

### <本日の流れ>

#### 1 報告・説明

(1) 各地区懇談会概要報告

(2) 今求められている学力について

(3) 文部科学省における「適正規模・適正配置」の考え方について

#### 2 協議

(1) 河北町立小学校の適正規模・適正配置について

(2) 小学校のあり方や将来の学校像等に対する本町の基本的な方針について

#### 3 まとめ

#### 4 今後のスケジュール

河北町教育委員会学校教育課



# 1 報告・説明

## (1) 各地区懇談会概要 (報告)



# 谷地西部小学校

令和4年9月29日（木）

## ＜ご意見＞

- ・ 統合の方向で見通しを持つ。
- ・ 統廃合があるのであれば1校にする。小中一貫校にする。
- ・ 3～4校にする。他校との交流を行う。
- ・ 先生方の負担増、教職員の減、行事削減になっている。
- ・ 大人数へのギャップ（小学校から中学校へ）がある。
- ・ 町の方針を示したほうが良い。
- ・ 小規模と大規模どちらにもメリットがある。
- ・ 現状の複式でよい。自主的な姿が見られる。
- ・ 低学年の複式に対する不安がある。
- ・ 地区に学校がなくなることへの不安がある。
- ・ 複式だから統廃合というのは疑問である。



# 北谷地小学校

令和4年10月28日（金）

## ＜ご意見＞

- ・なぜこれまで何もしなかったのか。早急に検討を進める。
- ・統廃合は避けられない。思い切って1校にする。
- ・統合はやむなしと思うが、学年に1教員をお願いしたい。
- ・登下校の安全対策をする。スクールバスを無償化する。
- ・これから入学する保護者の意見を聞く。
- ・子供に不利益がないように配慮してほしい。
- ・母校がなくなるのはさみしい。
- ・少人数でも学校を残してほしい。数パターン決めて提案してほしい。
- ・町の政策（子ども増加）を充実させてほしい。



# 溝延小学校

令和4年10月25日（金）

## <ご意見>

- ・ 少子化による統廃合をするのか、しないのかをはっきりさせることが大切である。
- ・ 町としての適正規模や配置について示してほしい。
- ・ 小学校から中学校への環境の変化が不安である。
- ・ PTAの維持が難しい。
- ・ 現在の教育環境が良いと感じている。
- ・ 地域の方たちが地域に小学校がないとだめと感じている人がいる。
- ・ 地域の方の協力で学校を助けることができる。
- ・ 地域の文化ことを学校で学ぶ機会があってもよい。



# 西里小学校

令和4年12月16日（金）

## ＜ご意見＞

- ・ 将来の人数を考えると仕方がない。せざるを得ない。
- ・ 長いスパンで考えるのであれば1校でもよい。
- ・ 経済的な面では1校にする。
- ・ 校舎の耐用を年数の問題と学校数の問題とシステムの問題が出てくる。河北独自の教育を考える。
- ・ 通学手段の検討を行う。
- ・ 安定した学びの環境を整理する。
- ・ 少人数と多人数のメリット・デメリットを整理する。
- ・ 学校家庭地域が一体となって小学生らしさを求めていく。
- ・ 複数校による学校行事を行う。
- ・ 地域に子どもの声が聞こえるようにしてほしい。
- ・ 地域行事の継承が不安である。
- ・ 住宅政策が必要である。



# 谷地南部小学校

令和5年1月20日（金）

## ＜ご意見＞

- ・河北町は1校の形にできる。河北のメリットをアナウンスしてほしい。
- ・1校にするのであれば河北町として力を入れた学校にする。
- ・1校に統合するしかないと考える。分断を招く。
- ・町としてどんな教育をしていくかで何校にするかを考えることができる。
- ・学校家庭地域が子どもにどんな教育をするかが大切である。
- ・周知方法をもっと考えてもらいたい。社会教育、地域振興まで考えた提案が必要である。多い人数に少数が吸収される不安やさみしさを考慮すること。
- ・アンケート結果を町民が見ることができるようにしてほしい
- ・参加人数が少ない。保護者の話をよく聞いてほしい。



# 谷地中部小学校

令和5年2月17日（金）

- ・児童数が減ると新しい活動が生まれない。
- ・複式学級の増加が、教員の負担過重が教育の質の低下を招く恐れがある。
- ・教育に力を入れる町としての教育の質・指導法を高める。
- ・学校づくりは持続可能な町づくりという視点を大切にする。
- ・子どもたちをどのように育てていくかが大切である。
- ・メリットデメリットを考える。
- ・地域の小学校をなくすことには慎重になるべきである。
- ・地域文化の継承について対策を講ずる。
- ・老朽化で修理修繕費等による町の財政負担。できるところから合併を進め、総合計画の完成年度で統合が完成する。
- ・町のサイズ感を生かした統合を進める。
- ・校舎が新しいので、谷地中部と谷地南部の2校に集約する。



# 1 報告・説明

(2) 今、求められている学力 (説明)



## 予測困難な時代を生き抜くために

### <学校教育に求められるもの>

- ・子供たちがさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくこと
- ・様々な情報を見極め知識の概念を実現し情報を再構築するなどして新しい価値につなげていくこと
- ・複雑な状況の変化の中で目的を再構築すること

### <取り巻く課題>

教師の世代交代 世代間のバランス

⇒教育にかかわる様々な経験や知見の継承が課題

子供たちを取り巻く環境の変化

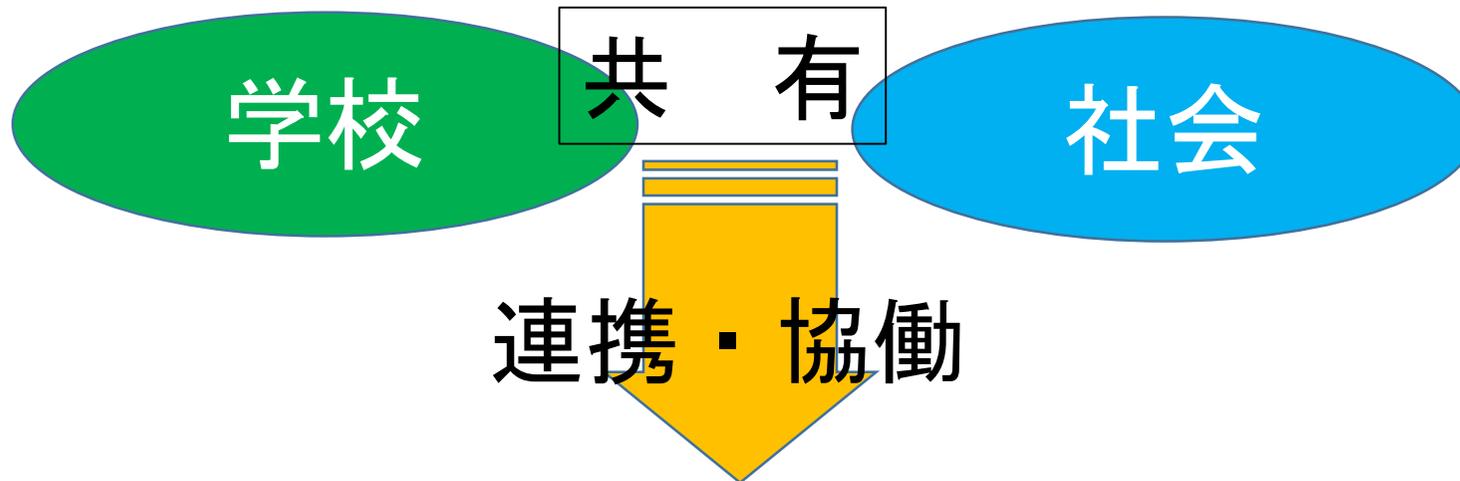
⇒学校が抱える課題が複雑化・困難化

学校の工夫だけにその実現をゆだねることが困難



# 中央教育審議会

より良い学校教育を通じてよりよい社会を創る



新しい時代に求められる資質能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

学習指導要領の改訂 (平成29年7月)

【学校教育で学ぶ内容の基準】



# 新しい時代に求められる資質能力を育む

## 育成すべき資質・能力の三つの柱

学びを人生や社会に  
生かそうとする

学びに向かう力  
人間性等

の涵養

どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を  
総合的にとらえて構造化

生きて働く

何を理解しているか  
何ができるか

知識・技能

の習得

未知の状況にも対応できる

理解していること・できる  
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

の育成



## 第2次河北町教育振興計画 〔改訂版〕 令和4年4月

### 〈基本目標〉

「ふるさとに学び、互いに高め合いながら、  
いきいきと未来をひらく人づくり」

河北の人、自然、歴史、文化の良さに浸り、ふるさとを愛する心を養うとともに、町民がいきいきと学びあい高め合いながら、次代を担う人材を育成すること

### 後期5年間の引き継ぐべき課題

- ・ 多様化、複雑化する生徒指導上の問題への対応
- ・ 「新たな生活様式」に基づいた教育活動の実施
- ・ 「社会に開かれた教育課程」の実現
- ・ 学力向上を目指すカリキュラム・マネジメント
- ・ 校種を超える体系的なキャリア教育
- ・ 学校・家庭・地域の連携協働、地域コミュニティの一層の推進
- ・ 地域スポーツの活性化と多様なスポーツニーズへの対応



## 第2次河北町教育振興計画 〔改訂版〕 令和4年4月

教育を取り巻く社会的な課題を踏まえた今後5年間の施策

### (1) 児童生徒数の減少

少子化が進めば、子供と大人の学びにどう影響するか、次のようなことが考えられます。

- ・多くの価値観に触れる機会が減ってしまう。
- ・子ども同士が切磋琢磨する機会が減少する。
- ・一定の規模の集団による教育活動が難しくなる。
- ・良い意味での競争心が薄れてしまう。
- ・青年層の減少に伴い、地域コミュニティの活力が減退する。
- ・地域に伝わる文化の継承が難しくなる。

町民が生き生きと学びあい、高めあいながら次代を担っていけるように**学びの環境**を改善していきます。



## 1 報告・説明

### (3) 文部科学省における「適正規模・適正配置」の考え方について（説明）



# 学校規模の適正化 1

- 集団の中で・・・
  - 多様な考えに触れる
  - 認め合い、協力し合い、切磋琢磨する
  - 思考力・表現力・判断力などを育む
  - 社会性や規範意識を身につけさせる

- ◎ 一定の規模の児童生徒集団の確保
- ◎ バランスのとれた教職員集団の配置



## 学校規模の適正化 2

- 教育施設だけでなく・・・
- 各地域のコミュニティの核
- 防災、保育、地域の交流の場などの機能

- ◎ 地域の未来の担い手を育む営み
- ◎ まちづくりの在り方と密接不可分



# 学校規模の適正化 3

## ○ 学校規模の標準（小学校）

### ■ 12学級以上18学級以下

※ 特別の事情があるときはこの限りではない  
【学校教育法施行規則第41条】

## ○ 1学級当たりの児童生徒数

### ■ 小1から小4まで35人以下

### ■ 小5から中3まで33人以下

（下限21人）

【教育山形さんさんプラン】



## 2 協 議

### <検討委員会における協議内容>

#### <テーマ>

(1) 河北町立小学校の適正規模・適正配置について

(2) 小学校のあり方や将来の学校像等に対する本町の基本的な方針について



### 3 まとめ

MEMO



## 4 今後のスケジュール

### 【開催予定】

- 第4回検討委員会（6月上旬）
- 第5回検討委員会（8月下旬）※町民参加型
- 第6回検討委員会（10月上旬）
- 第7回検討委員会（11月初旬～中旬）

### 【町民への周知】

- 3月中 アンケート結果、地区懇談会【概要版】をHPに掲載
- 広報 かほく（4月15日号）アンケート結果【概要版】に掲載